

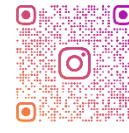
まるごと!西日本

2026年7月号

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oisca_ntc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

博多どんたく出演 5月3日



5/3(日)、博多どんたく港まつりの「早良区西新演舞台」に研修生が出演しました。

市民総参加で地域社会と地元経済の発展を目指すこのお祭りは、2026年度の研修生にとって初めての大舞台です。

当日は、母国の民族衣装を纏った研修生たちが舞台いっぱいに広がり、「Domog Biyelgee」(モンゴル)、「Ampar Ampar Pisang」(インドネシア)、「Goyang kanarn kiri」(インドネシア)の3曲からなる異国情緒あふれるダンスメドレーを披露しました。会場に集まった大勢のお客様からはあたたかい大きな声援と拍手をいただき、国際色豊かな素晴らしいステージとなりました。(大坪)



◇オイスカ長崎県推進協議会総会◇

6月5日、オイスカ長崎県推進協議会総会が佐世保市内で行われました。

総会には会員さんにご出席いただき令和7年度事業報告及び決算、令和8年度事業計画等が審議され承認されました。その後研修生より自己紹介をはじめダンスの披露を行い会場を盛り上げ、和やかな雰囲気の中で懇談も行われました。総会後は会員企業の坂元木工芸所を見学して色んな製品の作業過程の体験をするなど貴重な経験をさせていただきました。続いて長崎県立大学を訪問して学生さんとの交流会を通して意見交換や地域の魅力について紹介しあう等、お互いの伝統文化やライフスタイルの理解を深める良い機会になりました。ありがとうございました。(満川)



◇オイスカ活動鹿児島県推進協議会総会◇

6月15日、オイスカ活動鹿児島県推進協議会総会が鹿児島市内で行われました。総会には会員さんにご出席いただき令和7年度事業報告及び決算、令和8年度事業計画等が審議され承認されました。その後研修生からのプレゼンテーションやダンスの披露をして親睦を深め、今年度も引き続き推進協議会より全会員さんへクラウドファンディング農産物宅配サービスのお届けをするなどの取り組みを継続して活動を展開していくことになります。(満川)



◇オイスカ佐賀県推進協議会総会◇

オイスカ佐賀県推進協議会総会が佐賀市内で行われました。

総会では来賓をはじめ会員さんにご出席いただき、令和7年度事業報告及び決算、令和8年度事業計画等が審議され承認されました。引き続き昨年度のマレーシアサバ州ツアーの報告が動画映像を通して詳しく報告をされました。総会終了後は研修生のダンスの披露をして会場を盛り上げるなど和やかな総会になりました。今年度も佐賀県推進協議会行事に研修生参加をさせていただき交流を深め活動継続を活発に進めていくことになります。(満川)



◇福岡県、福岡市、早良区表敬訪問◇

6月24日25日にかけ福岡県、福岡市、早良区の表敬訪問を行い温かい歓迎を受けました。研修生は緊張したお面持ちの中、各自日本語で自己紹介を行い研修生の代表スピーチではマレーシアのクラウディアとインドネシアのアンギアットが日本での研修の目的や帰国後の抱負を述べました。懇談では自治体の皆様より励ましのお言葉をいただき、農業の特産品や地域の文化にも触れ、行政の地域づくりについて学ぶよい機会になりました。福岡での研修期間中は色々とお世話になりますがどうぞよろしくお願いします。(満川)



福岡県表敬訪問（中央:平野国際局長）



早良区表敬訪問（中央:三宅区長）



福岡市表敬訪問（中央:龍総務企画局長）

日本語の様子(2カ月の基礎研修修了!)

5月に入り、表敬訪問や九州各地の推進協議会の総会に出席する機会が多い2カ月でした。

自己紹介も回数を重ね、自分のことばとして、自然に話せる研修生も増えてきたように思います。教室では、週1回の日本語学習を続けています。

Aクラス:現在4名で、みんなの日本語2のテキストを勉強しています。理解も早く、運用力もあります。

漢字の学習が難しくなってきたようで、各自の勉強が必要です。

インドネシア研修生アンギアットさんが笑いを取りながら、和やかなクラスです。

Bクラス:現在7名で、みんなの日本語1を勉強しています。ひらがなカタカナの読み書きから始めたクラスですが、だいぶ理解が早くなり、授業が進めやすくなりました。漢字の学習も始めました。

パプアニューギニア研修生エミーさんの、状況を突いたひとことが、いつも、クラスに笑顔をもたらしてくれます。

梅雨が明け、暑い夏がはじまりますが、楽しく日本語の学習を続けていきたいです。

がんばれ！研修生(立石考子)



田植えイベント盛りだくさん

5月下旬から6月中旬にかけて、脇山地区にあるセンターの田んぼでは毎週土曜日に田植えイベントが行われ、多くの人で賑わいました。

順を追って説明しますと、5月30日(土)が九州電力主催のこらぼらQでん田植えイベントの開催。6月6日(土)には、食品の卸業者である岩田産業とオイスカが協働で主催した田植えイベント。そして最後の



6月13日(土)には、地元脇山にて脇山小学校の全校生徒と一緒に行われた田植えイベント。3回にわたって実施された田植えイベントに総勢400名ほどの方が参加して、みなさん泥んこになりながら楽しく田植え作業を行い、お米を作ることの大変さを実感していただく機会となりました。

今年も恐らく猛暑日が続



くかと思いますが、秋の稲刈りが楽しみです。(豊田)

農業研修風景

悲しいお知らせがありまして、センターの農場では2種類のモモを栽培しているのですが、6月下旬に収穫をする予定でした「日川ハクホウ」という美味しいモモが、1晩にしてサルの集団に食べられてしまったのです。被害を受けたモモは1万個をこえ、かなりの被害額となっております。ちょうどそのシーズンが総会等で外出する機会が多かったため、モモの畑に行く機会が少なくなっていたのですが、そのスキをつかれたこと



が大きな要因となっています。それと、被害を受けた時期には、サルはビワをよく食べに山からおりてくるのですが、そのビワが今年は不作のようで、どこのビワの樹にも実が殆どついていなかったために、直接モモに来たものと思われます。サルは頭がすごくいい動物ということなので、来年は「まだおいしくないから食べないでください」と看板に書いておこうかと思っています。(豊田)



体験農園

体験農園の畑も夏野菜がたくさん実り始めました。

さつまいもはマルチの穴から目を出し大きく育ち、ミニトマト・トマト、オクラ、ナス、ニンジン、じゃがいも収穫時期をむかえてます(インゲンの種の発芽率が悪くちょっと残念でしたが)。



ゴーヤやきゅうりのアーチにも実ってきてます。これからのお楽しみは、ビニール(あんどん)を外されたスイカやかぼちゃ、日本のスイートコーン。夏野菜は育ちが早いです。みなさん来て収穫してくれるのを待ってます。

(池田南海男)



OB 紹介コーナー

今回紹介するOB研修生は、インドネシアのOG研修生であるレスカさんです。

レスカさんが西日本研修センターでの研修期間中には、FBSの「頑張る君に花束を」という番組で、ソフトボールの練習から本番の試合までを題材にして合計7本テレビで放映された思い出深い代の研修生で、彼女はみんなから慕われるがんばりやさんでした。

レスカさんはインドネシアに帰国後、オイスカスカブミ研修センターにて1年間、CFPのスタッフとして勤務し、その後地元の農業高校で3年間農業の先生として指導にあたっていたそうです。

現在は結婚して、ご主人はオイスカの中部ジャワ、ベレベス県でマングローブ植林の担当者として活躍しており、本人は県の農業局の事務所で働いているそうです。これからも素敵な笑顔で活躍することを期待しています。(豊田)



技能実習生 交流 BBQ 大会

青空の下で BBQ & カラオケ！

あまぎ水の文化村で笑顔あふれる交流会・浦上先生送別会を開催



5/23(土)、初夏を思わせるような厳しい暑さと見事な晴天の中、自然豊かな朝倉市の「あまぎ水の文化村・せせらぎ館テラス」にて、技能実習生および特定技能生による交流会が開催されました。

今回の集まりは特定技能生たちからの発案で実現したもので、当日は多くの実習生・技能生が参加しました。イスラム教徒のメンバーも多いため、食事は全員が安心して楽しめるハラル料理のバーベキューを用意。大自然の中でコンロを囲み、美味しいお肉を味わった後は全員でカラオケを披露し合い、会場は大変な盛り上がりを見せました。また、この日はオイスカ西日本で技能担当としてご尽力いただき、この度退職された浦上先生の送別会も兼ねて行われました。このような交流会は今年初の試みでしたが、今後は地域の皆様との交流も兼ねて、継続的な開催を目指してまいります。

国境を越えた仲間たちとの絆を深め、お世話になった先生へ感謝を伝える、あたたかく思い出深い一日となりました。

技能実習生一時帰国

技能実習制度では、3年間の実習を修了した後、3号の在留資格を保持したまま一時的に母国へ帰国することが定められています。

今年の5月には、(株)ハラダのラハマトさんとランディカさん、(株)ファブコン九州のデニさんが、2ヶ月～3ヶ月の一時帰国を迎えました。日本のたくさんのお土産をトランクに詰め込んだ皆さんの笑顔は、とても眩しく輝いていました。

技能実習生の皆さんには、3年間日本で頑張ったご褒美として、母国で家族とゆっくり過ごし、大いに英気を養ってきてもらいたと思います。そして、再び日本へ戻ってきた際には、更なるスキルアップを目指して大いに活躍してください！(大坪)



室町ケミカル社員研修

5月12日(火)～15日(金)にかけて、福岡県大牟田市に本社のある室町ケミカル株式会社の新入社員6名が参加して、新入社員研修が実施されました。

4日間の研修の中には、オイスカ海外研修生との交流をはじめ、農業体験や各国の料理づくり、そして「命をいただく授業」としてニワトリの解体体験など盛りだくさんの内容で、様々な体験を通して新入社員の皆さんは多くの学びを得る機会となりました。

特に3日目のウォーキングでは、研修センターから17キロほど離れた福岡タワーまで、研修生と一緒に室見川沿いを歩き、途中でゴミ拾いもしながら、楽しいひと時を過ごしました。体力的にきつかった事もあったと思いますが、みんなで一緒にやり遂げることの達成感は何事にも代えがたい大切な思い出になったかと思います。(豊田)

茶話会～脇山公民館にて 6月20日

昨年に続き、地元脇山にて、茶話会が催されました。脇山公民館の方が企画してくださり、大人から子どもまでたくさんの方が集まりました。研修生は国ごとにいろいろなことを発表しました。例えば、ふるさとのこと、あいさつ、お祭り、くだもの、遊びなどなど。途中で、参加型の発表もあり、みなさんとても積極的でした。発表を聞きながら、質問用紙に答えを記入してもらったところ、ほとんどのグループが全問正解でした。公民館の方も、ゲームを準備してくださり、「ペットボトルでカーリング」で大変盛り上がりしました。その勢いで、研修生のダンス披露の際は、ほぼ全員がダンスの輪に入りました。あっという間の充実した2時間でした。お別れの際は、お互いの名前を呼びあう研修生と子どもたちもいて、よい交流になりました。研修生たちは来日早々に歓送迎会に招待されていますが、そのころに比べて、コミュニケーションはだいぶとれるようになったのではと思います。

脇山の方々、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。(立石考子)



脇山ボッチャ大会参加

5月17日、脇山の地域の皆さんとの交流を目的として脇山小学校でボッチャ大会が行われました。それぞれ3人一組のチームに分れての試合で、初心者の方も経験者と一緒にプレーを行い、お互いに声を掛け合いながら競技を楽しみました。研修生たちは楽しかったけど、意外と難しいゲームだったと感想を述べていました。

ご招待いただきありがとうございました。(アルネル)



三桜電気工業株式会社

宮崎市小松字下川原 1158-11

【事業内容】

弊社は、昭和 21 年 1 月の創業以来、電力会社の送電設備の建設及び、補修工事並びに一般電気設備工事を業務の中核としています。

現在では、送電工事業をはじめ、官公庁の内線工事、畜産の糞尿処理、畜産廃棄物関連・食品工場の水処置やバイオマスプラントの建設、一般家庭向けのオール電化・リフォーム・再生可能エネルギー（太陽光発電・蓄電池）システムの事業など多岐に亘ります。

【入会のきっかけ】

宮崎商友会様からの紹介をきっかけに入会いたしました。

【メッセージ】

2022 年に弊社の作業服の新調に合わせて、有効的活用を目的に旧作業服を約 400 着ほど寄贈をさせていただいたことをキッカケに、研修生のみなさまが作業服を着用して研修に励まれている姿を拝見する機会も増え、非常に喜ばしく思っております。コロナ禍で入国が厳しい時期を乗り越え、日々頑張っていらっしゃる研修生の皆様のご活躍を祈念しております。



(株)サンリブより寄付金贈呈

6月3日、会員企業の株式会社サンリブ本社より九州・山口・広島エリア店舗のトレー店頭回収リサイクルに伴う再生トレー原料の有価物売却益及びレジ袋販売売上の一部 135,457 円を西日本研修センターへご寄付いただきました。サンリブスーパーでは、福岡市内のサンリブ BUONO 原店の野菜コーナーにオイスカの農産物を販売させていただいています。お近くをお通りの際はお立ち寄りいただきお買い求め下さいませ。この度のご支援誠にありがとうございました。(満川)



中央:サンリブ人事総務部総務次長 中澤様



アトリエ木下撮影会

6月30日、アトリエ木下様の研修生への撮影会が浄水通り本店で行われました。スタジオではスタッフの皆様から撮影時のポーズや表情について適切なアドバイスを受け、個人写真やグループ写真の撮影していただきました。夕食交流会ではレストランでテーブルマナーの説明を受け、フランス料理をいただきながら、研修生の映像を通しての自己紹介の発表を行い、木下社長様はじめ社員の皆様との親睦の交流の会話も弾むなど和やかな夕食会になりました。ご招待いただきありがとうございました。(満川)



中央 木下社長

マレーシア OB 来所

マレーシアサバ州 OB の会とそのご家族総勢44名が観光と視察のため来福されました。

5月27日に来日され東京、静岡と観光そして5月29日に福岡に来られました。その日は朝倉の果樹園を視察、次の日は長崎を観光、そして5月31日、西日本センターに来所されました。オイスカの OB は6人でそのうち西日本の OB は4人でした。みな



さん西日本センターがまだ姪浜にあった頃の研修生でしたが日本語もまだしっかり覚えており私達とも日本語で会話をしました。センターでは農場を案内、その後お昼を食べながら現在の研修生達としばしの交流を楽しみました。きっとセンターに来られて自分たちの研修の頃を思い出されたことと思います。先輩の皆さんのご活躍も聞けて現在の研修生もきっと励みになったことでしょう。

OB の皆様が長い年月オイスカと繋がって支えて頂いたおかげでこうやって今があるのだ

と思います。私達センター職員も研修生も将来のオイスカのために繋げる活動をこれからも続けていきたいと思いました。

OB のみなさま、また是非お越しください

Jumpa lagi

(豊田早苗)

さよならマックス、また会う日まで

6月27日(土)、令和7年度の OB 研修生マックス(パプアニューギニア)が、研修期間を終えて帰国しました。マックスは、1回目の研修が令和2年で、その当時新型コロナウイルスで新しい研修生の入国が出来ない中で、農場の運営をサポートするために1年間研修期間を延長して研修センターの農場運営に大きく貢献していただきました。

そして今回 OB 研修生という立場で約15ヶ月間、他の研修生からの信頼もあつく、強い責任感をもって取り組んでいただきました。

帰国後彼はパプアニューギニアにあるオイスカラバウル研修センターの幹部職員として、日本での経験を活かしながら現地研修生の指導にあたってくれるものと期待しています。(豊田)



【新規会員】(敬称略)

九州電力労働組合 宮崎支部、株式会社 堀内組、株式会社 坂元木工工芸
吉田 和秀、濱地 由美子、山口森義

7月の予定

2~3日 宮崎県推進協議会

5日 JLPT 試験

7~8日 福岡県販売会

9日 西日本支部幹事会

11日 大野城交流会

12日 博多祇園山笠追い山ならし見学

17日 福岡市販売会

20日 地引網 2026

24~25日 地球体験村

28日 そばうち体験

8月の予定

2~7日

インドネシアツアー

11日 野球観戦

20日 四箇田公民館

モルック交流会

ご協力ありがとうございます

【5月・6月の寄贈者】(敬称略)

坂本正、牛島明、平井正則

村添心愛、馬場雄治、蒲生清一

岩田産業(株)、

シュタイナー学園

ライオン